



筆の扱いには、これといった決まりはありません。従って、洗う・洗わないの判断は、お客様の
方で決めて頂きたいと思えます。このプリントでは、きちんと墨を落としたい方に向けて、手順を
説明いたします。

ここがポイント!

●使用後になるべく早く洗う

当たり前のことですが、墨が固まってきますと、その分落ちにくくなります。
早め早めにきちんと根元まで墨を落とせば、**筆割れもしにくくなります。**

●穂先保護用の透明キャップは外す

お買い上げ時に付いている、穂先保護用の透明キャップは、**使用後には付け
ずに処分して下さい。**良く乾燥させずに生乾きのままキャップをされますと、
筆の内部で湿気がこもり、腐ってしまうことがあります。

大筆

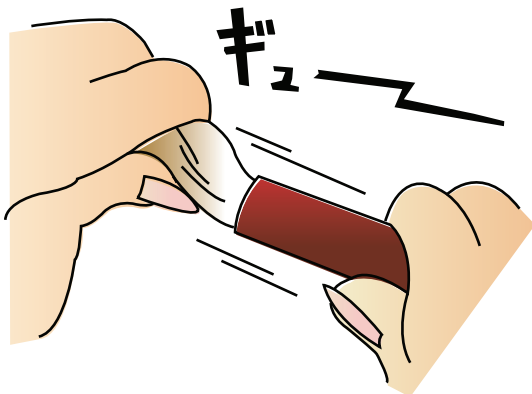
とにかく根元よく洗うこと!
根元の中まで墨を落とせば、筆は長持ちします。



① 適当な容器にぬるま湯を溜めて洗います。
根元を軽く押しつけて、内側に入っている
墨を押し出して下さい。



② 何度か水を換えて、水が汚れなくなるまで
すすぎましょう。基本的にはこれだけで墨は
落ちますが、落とすきれない場合は③の方法
をお試し下さい。



③ なかなか墨が落ちない
場合は、毛先をつまみ、
根元を回す様に軽く力を
入れて揉みだします。毛
の間にすき間を作り、水
を入れてあげることがコツ
です。しかし、やりすぎると
筆に負担がかかり毛を傷め
てしまうのでご注意ください。

流し洗いでは
墨が落ちません!!

水道で洗い流しても、
外側に付いてある墨しか
落とせません。墨を落と
して、筆を長持ちさせたい
のであれば、溜め洗いで
落としましょう。